

## 新年度のご挨拶 所長 阿部 和也



平素より東京都がん検診センターの運営にご支援、ご協力いただき、心より御礼申し上げます。

本年度も新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)パンデミック(COVID-19)が収まっておらず、手探りの年度初めとなりました。昨年度のご挨拶でも述べましたように、当センターを運営する公益財団法人東京都保健医療公社は、都立病院と共同でCOVID-19対策に先頭を切って当たっており、当センターも同じキャンパス内にある東京都立多摩総合医療センターのC館(旧都立府中療育センターを改修したCOVID-19専用病棟)に応援の医師を派遣しております。

また、当センターでは府中市が行うSARS-CoV-2ワクチン住民接種にも協力いたします。府中市では接種の予約を各施設に任せているため、当センターも電話が繋がりにくいなどのトラブルに見舞われ、住民の方々や当センターの利用者の方々にご迷惑をおかけする結果となりましたが、接種が進むにつれ混乱は徐々に収まるものと信じて職員一同業務に励んでおります。

最近ではCOVID-19の影響でがん検診受診者が減少していることへの懸念や、実際に早期がんの患者さんが減り、進行がんの患者さんが増えているという報告もあります。がんは、日本人の死亡原因の上位を占め、早期発見により治癒が期待できる疾患です。今こそ当センターが働くべき時と存じますので、患者様への検診の啓蒙と、一次検診で異常ありと判定された患者様のご紹介をよろしくお願い申し上げます。

今後とも、先生方の診療のお役に立てるように努力したいと存じますので、引き続きご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

## 新事務長着任のご挨拶 事務長 佐野 修

本年4月1日、事務長に着任しました佐野と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

医療機関の先生方には、日頃から患者さんをご紹介いただくなど、当センターの事業にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

当センターは、令和7年度に多摩総合医療センターと機能統合し、多摩キャンパス全体で検診機能と治療機能を一体化したがん医療を提供していくこととなりました。

また、令和4年度には、今まで以上に人材確保などで柔軟で弾力的な運営を行い、一層のサービス向上に努めるため、都立病院と公益財団法人東京都保健医療公社が一体的に地方独立行政法人東京都立病院機構(仮称)に運営形態を移行する準備を進めています。

当センターを取り巻く環境が激しく変化するなかでも、医療機関の先生方と連携・協力しながら、精密検診等を中心に、がん検診の専門機関としての役割を引き続き果たしてまいります。今後とも、当センターをよろしくお願い申し上げます。

## 新検査科技師長着任のご挨拶 検査科技師長 前田 かおり

4月より検査科技師長に着任いたしました。至らぬ点もあるかと思いますがどうぞよろしくお願い申し上げます。検査科は非常勤も含め15名の臨床検査技師が検査を行っております。多くが豊富な経験と専門学会認定資格を持ち質の高い検査を提供するとともに、より精度を上げるべく日々研鑽を積んでおります。また検診センターの一員として子宮頸がん検診啓発活動に力を入れており、婦人科医師、保健師と協力し多摩地域の看護学生を対象に講演による活動を実施しております。現在は新型コロナ禍のため活動は困難ですが、形を変えて今年度も引き続き啓発活動に取り組んで参ります。また、検査科ではがん検査・診療に従事する臨床検査技師を対象にした人材育成事業に力を入れており、細胞検査士や超音波検査士を目指す方、従事者の方のレベルアップを目的とした個別研修を随時実施しております。是非ご活用ください。

## 乳腺腫瘍外科のご案内 乳腺外科医長 松浦 篤志

当科では、乳房の精密検査や乳がんドックを行います。

マンモグラフィーやエコーなどの画像検査、必要時は針生検、マンモトームといった組織検査も行い、正しく診断します。当センターは診療所でありながら、病理部門も常駐しているのが大きな強みで、スムーズに最終診断に至ります。また、医療連携の専門スタッフも充実しており、患者さんの病状や希望に沿った治療施設を紹介しています。

この20年くらいで、がんの診療は臓器別化が進みました。分業により、効率も質も高まるのは自動車などのものづくりと同じです。しかし、精密検査と治療はあまり分業化されていません。大病院では、少ないスタッフが検査や年間何百例という手術、さらに年余にわたるフォローアップまでこなし、過重な労働を強いられています。検査部門と治療部門を別建てにすれば、過重な労働は緩和され、働き方改革の理念にも合ううえに、各部門の質の向上にもつながると思います。多くの方に当センターで検査を受けていただくことが、がん医療の質向上や、医療改革につながると確信しております。

## 婦人科のご案内 産婦人科医長 高江 健太郎

すでにご案内しています通り、婦人科においても昨年度で子宮頸がん検診の集団検診の実施は終了し、今年度より、一般外来・二次(精密)検診中心にシフトしています。集団検診を行っていた午前中にも一般外来枠を拡張していますので、より子宮頸がん検診において異常が見つかった方の精密検査や経過観察についてのご紹介をお受けしやすくなっております。

令和2年度はセンターの一時休止にてご迷惑をおかけしましたが、再開後も多くの受診者をご紹介いただき感謝しております。

また、平成30年度より府中市子宮頸がん検診の二次検診施設になっておりますが、初年度は要精検者118人中105人受診され(当センターにおける精検受診率:89.0%)、CIN3以上を16件(含む追跡調査)検出しています(令和元年度については間もなくご報告予定です)。こちらについても地域での役割を果たしていければと考えています。引き続きよろしくお願い申し上げます。

当センターとの医療連携についてご意見等ございましたら、医療連携室までご連絡いただければ幸いです。



《 医療連携「都がん便り」に関するお問い合わせ 》  
医療連携室 電話 042 327 0201 (代表) 内線 2238  
F A X 042 327 0450

